

第8期 東久留米市地域産業推進協議会
第8回会議録

- 1 日 時 令和7年2月19日（水）午後6時30分～午後7時20分
- 2 会 場 東久留米市役所 7階 703会議室
- 3 出席者等（敬称略・五十音順）

赤星 良平	石川 善則	伊藤 成美	榎本 義樹	陰山 ひとみ	多功 敬
土田 健太郎	野崎 林太郎				

欠席：荒 昌史、齋藤 真理、塩野 麻里、篠宮 昭浩

4 議 事

1 開 会

2 挨 拶

3 報 告

4 議 事

（1）協議会報告書について

（2）第8期協議会の総括について（各委員より感想・意見）

（3）協議会報告書の提出について

5 市長挨拶

6 連絡事項

（1）委員からの連絡

（2）事務局からの連絡

7 閉 会

1 開 会

【事務局】

ただいまより、第8回東久留米市地域産業推進協議会を開催する。初めに配付資料の確認をさせていただきます。

(配付資料の確認)

2 挨拶

【会長】

・本日はお忙しい中、第8期の最後の協議会に出席いただき感謝申し上げます。後ほど市長に今期の報告書を提出する。報告書には、各委員が真摯に取り組んできた今期の活動内容をまとめたため、市長にもお読みいただければと思う。今回の協議会をもって今期は終了となるが、各委員には今後も東久留米を盛り上げていただければと思う。

3 報 告

■ 商工会

・特になし

■ JA

・特になし

■ JC

・1月28日に新年賀詞交歓会を行い、新理事長が就任した。

■事務局

・令和7年1月1日付の人事異動に伴い、主事が1名増となった。

4 議 事

(1) 協議会報告書について

【事務局】

第8期の報告書の作成に当たっては、各事業部で審議、調製いただいた報告内容を事務局において取りまとめ、フォントや表現が統一となるように修正した。その後、委員の皆様へ送付して意見等を募ったところ、特に意見等はなかった。

【副会長】

事務局から報告書確定までの経緯について説明いただいた。すでに委員の皆様には内容をご確認いただいているところであるが、この「東久留米市地域産業推進協議会報告書」を報告書とすることに異議はあるか。

【一同】

異議なし。

【副会長】

この報告書を確定版とする。

(2) 第8期協議会の総括について（各委員より感想・意見）

【副会長】

第8期地域産業推進協議会の総括として、各委員から感想や意見をお願いする。

【委員】

この2年間、委員として積極的に動いてきたが、活動を通じて、今まで見えていなかった東久留米の魅力や関わった方々の優しさを感じることができたため、やりがいを感じられた。また、組織の誰かが何かやろうとしていることに対し、自分事に捉えて関わっていくことの大事さも改めて感じた。ご協力いただいた委員や事務局の方々には感謝を申し上げたい。今後も、情報発信推進事業部会を通じて知った東久留米の魅力を、自分に一番身近な農家にもアピールしていきたい。2年間ありがとうございました。

【委員】

委員としては今期で2期目となる。初めてだったこともあり、前期では事業を実現することに集中していたが、今期ではもう少し視野を広げて活動を捉えていこうと思い活動の幅を広げた。様々な形で各部会と関わり、一つ一つの事業の大切さと共に、それぞれの部会で連携する重要性も感じた。これだけ多くの事業を行おうとするとできないことや難しいことも出てくるかと思うが、事業を実施する上で重要なのは課題を見つけることだと思う。もし来期も委員として携わることができれば、今度は街づくりや産業の連携の中で課題を見つけ向き合っていきたい。委員の皆様とはご迷惑をおかけしながらであるが協力して事業を進めることができた。これが円滑に進んだのも事務局の皆様のサポートがあっただと思う。2年間ありがとうございました。

【委員】

今期から初めて委員を務めたため、分からないことが多い中でのスタートであったが、東久留米を盛り上げたいという意思を持って楽しく活動ができた。情報発信推進事業部会では、自分が出したアイデアを掬い取ってもらい、実現可能な形にブラッシュアップしてもらい、それを自分たちで実行していくというチームプレイがうまく機能できて良かったと思う。2年間ありがとうございました。

【事務局】

本日欠席の委員よりメッセージをいただいているので、事務局より代読する。

部会としての取り組みが成果を上げ、自分自身も成長を実感している。また、その成長が自分の事業にも反映されていることも感じた。ターゲット層に合わせたコンテンツ作成も重要だが、この2年間で最も実感したのは「楽しいは人を引き付ける」ということであり、「楽しい」を出すには何よりも発信者側が楽しむことが一番だと感じた。貴重な経験をさせていただき感謝している。

【委員】

2年前に東久留米に異動し、それと同時に今期の委員を務めた。東久留米は初めての勤務地であったため、当初はまちや事業者の様子はわからなかったが、この協議会に所属したことで東久留米のことを学ぶことができた。短い間であるがお世話になりました。

【委員】

この協議会とは、街バル実施時に一店舗として関わった。それから、前期から委員として携わり、自分たちが作りたいと思ったものについて夢を語るように話し合い、ナイトマルシェを作り上げた。今期ではそうして作り上げてきたナイトマルシェを持続可能な事業とするために、地産協から切り離せるように極限までそぎ落とす作業をしてきた。このような一から作り上げた物をクロージングする過程に携わったことは勉強になった。委員としての反省については部会や地産協開催のイベントになかなか参加できなかったことである。今後は、自分の会社の組織づくりを改めて、自分の時間を作れるようにしていきたい。今までありがとうございました。

【委員】

今まで地産協を支えてきた委員が前期をもって退任し、今期はフレッシュな体制となったが、今まで地産協と関わりのなかった方からの意見が入るようになり非常に良い形となった。ナイトマルシェも地産協も持続可能なものにしていかなくてはならないが、どこも若手の人手不足が問題となっている。地産協も古参の委員が一斉に退任するのではなく少しずつ変化していくのが好ましいと思う。そして、地産協の名前を広げていき、委員になりたいという人が出てくる協議体になると良いと思う。東久留米を盛り上げたいと思ってくれる人々を増やしていけると自然と良いまちになっていくと思うので、そのような人材を育成するという観点からも地産協に新しい委員が入ってくると良いと思う。2年間ありがとうございました。

【副会長】

前期から委員を務めているが、今期は事業部長となったため主体的かつ積極的に動かななくてはならないという自覚を持って活動した。新産業創出推進事業部会の雰囲気としては参加者全員が主体的であることが印象的であった。様々な会議に参加してきたが、参加者全員が積極的な姿勢である会議体はなかなかない。また、今期では創業支援トークイベントを実施したが、トークイベントがなければ出会うことがなかっただろう東久留米を盛り上げたい方、東久留米が好きな方、東久留米で何かをしたい方々と一堂に会することができた貴重な機会にすることができた。このトークイベントは「＃0（シャープゼロ）」、つまり始まりであるため、次につながる形で継続できると良いと思う。充実した2年間でございました。

【会長】

自分は今期で卒業となる。初めて委員を務めた際は何も分からない状態からのスタートで不安だった。そして、前期ではイベント推進事業部長となり、部会の委員をまとめなければいけないプレッシャーがあったが、委員の方々が一生懸命活動いただいたこともあり、

ナイトマルシェをうまく実施することができた。自分にとって、ナイトマルシェは大きな存在だと思っているので、それを無事に成功できたのは良かったと思う。今期で会長を務めるに当たって、前期まで勤めていた委員が行ってきた取り組みや思いを今期の委員をつなげることが自分の役目だと思い活動してきたが、皆様全員すばらしかったこともあり、自然とつながっていった。地産協をここまで盛り上げられたのも皆様のおかげである。今までありがとうございました。

(3) 協議会報告書の提出について

会長、事業部長から報告書を市長へ提出

5 市長挨拶

【市長】

第8期の東久留米市地域産業推進協議会報告書を受け取らせていただいた。会長をはじめとした委員の皆様には、ナイトマルシェやSNSの発信、トークイベントを含めて様々な事業をお忙しい中にもかかわらず取り組んでいただき感謝申し上げます。地産協は長い歴史の中で様々な方々に携わっていただいているが、行政が主体となって取り組むことがなかなか難しい部分も皆様の力を借りて地域を盛り上げるというところで、これまでの委員の方も市の職員にも力を発揮してもらい感謝の気持ちでいっぱいである。地産協はこの報告書を提出して終わりというわけではなく9期に繋がっていく。ナイトマルシェについても試行錯誤しながらかもしれないが良い形になってきており、今後民間主体となって根付くとより良い取り組みになると思う。9期に残る委員も今期で卒業する委員も、今期の経験を活かし地産協の取り組みを広めていただき、多くの方を巻き込んで東久留米を盛り上げていただければと思う。引き続き市も精一杯力を尽くしていきたいと思う。来期も委員を継続する方は地産協で、今期で卒業する委員は他の場面でお世話になるかと思うので今後ともよろしく願いしたい。本当にお世話になりました。ありがとうございます。

6 連絡事項

(1) 委員からの連絡

なし

(2) 事務局からの連絡

なし

7 閉 会

【事務局】

閉会に当たり、市民部長からも挨拶させていただく。

【市民部長】

会長をはじめとした皆様には第8期を支えていただき心よりお礼申し上げます。委員からの先ほどの意見の中に人材育成というお話しがあったが、行政職員の代表として一言申し上げますと、地産協は市の職員を育てる良い場にもなっている。自分自身も地産協を担当し、東久留米を大事にする方々がいることを知って、より東久留米のことが好きになった。職員は行政の立場から市政を考えがちだが、市民からの意見を聞くことで、市民の視点からも考えることができるようになると思う。自分自身も地産協の委員の方々を先生として学ばせていただいたため、今の職員にも行政と市民の視点をもって複眼的に市政を見ることができるよう育ってもらいたい。

【事務局】

これで第8回東久留米市地域産業推進協議会を閉会したい。